

♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 2019年4月26日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



「見える幼稚園」をめざして！

新緑がまぶしい季節になりました。



城南学園自慢の「さつき」通り、見事に咲き誇っています。ようやく、新入園児の子どもたちも幼稚園に慣れ

始め、泣き声もめっきり少なくなりました。

昨日まであんなに泣いていた子が、笑顔で「おはようございまちゅ」とご挨拶したりすると、感激します。「えらい！えらい！」、はじめての社会それが幼稚園です。とまどいや不安があって当然です。一日一日、園生活を積み重ね、自分で乗り越えて、「今」があるのです。小さな体と心をいっぱいいつかってチャレンジしているのです。その健気さに心打たれます。

その分、お家ではいっぱい抱っこしてあげてください。どの子ども外で精一杯がんばっています。オンとオフ、家庭がいい意味で「オフ」になり、エネルギーを充電できるような環境づくりに努めてあげてくださいね。

いよいよゴールデンウィークが始まります。この間に平成から新元号「令和」へと移行する一連の儀式も見られることでしょう。その歴史的瞬間を心に刻みたいと思います。子どもたちの楽しい思い出がよりふえますよう、元気にお過ごしください。



5月10日(金)、クラス委員総会があります。クラス委員を引き受けていただき、大変嬉しく思っています。幼稚園の行事等で役員さんとともにご協力いただく皆様。今年一年お世話になります。よろしく願います。

「読み聞かせ」されていますか？

今回は、「3歳から5歳児の家庭での読み聞かせ」の現状についてお話します。

ある調査では、絵本や本の読み聞かせ頻度について、「ほとんど毎日」している割合は、年少 31.8%、年中 25.5%、年長 17.8%でした。子どもの年齢が上がるにつれて読み聞かせの頻度は少なくなっていくます。読み聞かせをしている人に対して、1日あたりの平均時間を聞くと、どの年児も5分から15分が約半数占めますが、「5分未満」は年少 17.7%、年中 21.4%、年長 26.1%と増加しており、1日あたりの読み聞かせの時間も、年齢が上がるに連れて短くなっていくことが分かりました。

一方、子どもが一人で読む頻度については、年齢にかかわらず約3から4割の子どもが毎日一人で絵本などを読んでいます。また、質問に答えたり、説明を加えたりするなど子どもの様子に寄り添いながら読み聞かせをしている人は約半数いました。皆さんのお家ではいかがでしょうか？



さて、幼稚園で絵本の読み聞かせをしてもらう機会が増えるので、乳児期のように家庭で読み聞かせの時間を設けなくてもよいと考えたり、文字を読めるようになるので、もう読み聞かせをしなくてもいいと考えたりする方もおられるようです。

読んでいる人や聞いている人たちと絵本の世界を共有することができ、絵本を読んでもらうそのプロセスに楽しさを感じられるのが、読み聞かせの魅力。

私自身もが、うとうとしながら添い寝して読み聞かせたことをなつかしく思い出します。今孫たちは、自分で2冊、時には3冊と読んでもらう絵本を選ぶ楽しさも感じ始めていて、旅行に行くときも必ず絵本を持っていくほど大好きになっています。

お話の世界を想像したり、余韻を楽しんだり、豊かな心が育まれる瞬間、それが読み聞かせです。